



11月 19日

「夫婦というよりも同志」 ダイヤモンド婚・金婚合同祝賀式

結婚して60年目を迎えるダイヤモンド婚と50年目を迎える金婚の夫婦を対象にした祝賀式が市民会館で開催され、仲むつまじい姿の105組(ダイヤモンド婚27組、金婚78組)の夫婦が参加しました。

参加者を代表して謝辞を述べた水竹町の林正夫さんは、「50年の長い年月を二人で過ごしてくると、夫だ、妻だというよりも、今では同志のように感じる。」と、円熟増した夫婦ならではの言葉を残されていました。



11月 24日

9万個の輝きに彩られ「光の港」開港

クリスマス後1ヵ月後に控えたこの日、ラグーナ蒲郡に係留されたヨットやボートのイルミネーションが、一斉に点灯されました。

色とりどりに飾られたイルミネーションの光は、水面にも反射し何倍もの輝きを放ち、海面をゆらめく波と呼応して、まるで光の港のような世界を演出していました。

この日の夕方から行われた点灯式には、若いカップルらが大勢詰めかけ、幻想的に彩られたマリナーを眺めながらロマンチックなひとときを過ごしていました。



11月 30日

船が空を飛んだ!? アメリカズカップ艇の大移動

竹島ふ頭に展示されているアメリカズカップ艇を、蒲郡駅南広場に移設する作業が行われました。

このアメリカズカップ艇は、世界最高峰のヨットレース「アメリカズカップ」に挑戦するために建造されたもので、全長が23mにもおよびます。

このため移設には大型クレーンが使われ、まるで船が空を飛んでいるかのごとく天高く持ち上げられました。

アメリカズカップ艇は、「海のまち蒲郡」を象徴するモニュメントとして、1月より駅前で大規模展示されています。

